



会社案内



この島のおいしいを、100年先も。



沖縄ハム総合食品株式会社

# OKIHAM TOP

# MESSAGE

トップ  
メッセージ

地域の皆様との  
つながりを大切に  
琉球料理・沖縄料理の  
継承・普及に尽力する。

## — 創立45周年を迎えて

**長濱徳勝会長(以下、長濱会長)** 沖縄は古くから中国との貿易が盛んで、食文化においても大陸の影響をうけてきました。それを亜熱帯気候の風土に合わせて独自の豚肉文化を発展させました。また灼熱の太陽の日差しを受けた農産物や薬草は、豚肉料理と合わせて沖縄県の健康・長寿を支えています。そんな沖縄で当社は1977(昭和52)年に名護市に誕生し、2022(令和4)年で創立45周年を迎えました。これまでの歩みを振り返りますと、非常に感慨深いものがあります。県民及び消費者の皆様、お取引先の企業様、読谷村、沖縄県などご支援・ご愛顧いただいた方々に心より感謝申し上げます、このことに尽きます。

**長濱徳洋社長(以下、長濱社長)** これまで支えてもらった従業員とご家族、ご愛顧いただいている皆様、お取引様・お得意様のご尽力とご協力に心より感謝いたします。また、この節目の年に、私、長濱徳洋は当社の4代目社長に就任いたしました。歴代社長が培ってきた過去の成功や挑戦の歴史から学び、100年先も成長と発展を続ける企業を目指して次世代へ事業を継承できるような誠意を尽くしてまいります。

## — ここまでの会社の歩みについて

**長濱会長** 養豚農家であった創業者・長濱徳松が、復帰前後の激動の沖縄・名護市で、ハム・ソーセージの製造を始めたのが当社の始まりです。1981(昭和56)年には読谷村に調理総菜・レトルト食品を製造する工場を落成し、農畜産物を使った琉球料理・沖縄料理の製造販売に積極的に取り組みました。1992(平成4)年、読谷村にハム・ソーセージ工場を新築移転し、生産体制を増強、また2002(平成14)年に完成した乾燥施設により多彩な製品を生産することが可能となりました。さらに、2005(平成17)年には飲料工場が併設され、沖縄のシークワサーやパイヤを搾汁・加工し、多様な飲料製品を次々と製造しております。ハム、ソーセージを中心としたレトルト食品、惣菜食品、乾燥食品、健康飲料へと分野を広げてきた当社は、このような歴史を経て、現在、総合的な食品製造加工を行っております。

また、当社は創業から一貫して地域に根ざした商品作りにこだわり、農商工連携事業にも多数携わってまいりました。地域の特産品や規格外品などを活用した商品開発・販売などの功績等が認められ、2022(令和4)年には農林水産大臣賞を受賞いたしました。地域活性化の一翼を担っていることを大変誇りに感じております。

一方、製造業において欠かせない安心・安全で高品質な商品作りにつきましては、

2003(平成15)年に日本品質保証機構(JQA)による品質管理システムに関する国際規格「ISO9001」及び「HACCP SYSTEM」を認証取得しました。そして更なる高みを目指すため2021(令和3)年に食品の安全に特化した国際規格「ISO22000」に移行しました。

## — 新たなブランドコンセプト

### 「この島のおいしいを、100年先も。」について

**長濱社長** 当社の創立45周年を迎えた2022(令和4)年は、沖縄の本土復帰50周年、オキハムが世界初の琉球料理(汁物)のレトルト商品を発売してから40年という節目の年になりました。沖縄のことをもっと広く発信し、進化するチャンスだと捉え、2021(令和3)年に琉球料理・沖縄料理プロジェクトを立ち上げました。当社の県外営業所も巻き込み、全社一丸となって取り組む中で、ブランドパーパスを立ち上げることにしました。

琉球料理・沖縄料理は沖縄が世界に誇ることができる素晴らしい食文化であり、なくてはならないもの。そのことを私たち県民は改めて認識し、しっかり継承していく必要があると思います。同時に、県外、国外の方々にもっと興味を持ってもらい、多くの方に実際に食べて、喜んでいただきたい。そのために当社ができることは何か。これは、オキハムのこれまでの歩みや現在の立ち位置、お客様との関係性などを、丁寧に、そしてとことん考え続ける、まさに原点回帰・温故知新の機会だと捉えています。その先に辿り着いた想いを、新たなブランドコンセプト「この島のおいしいを、100年先も。」に込めました。

## — これからのオキハムについて

**長濱会長** 今後も沖縄の食文化の継承・普及と、地域貢献を大切に、多くの方に喜んでいただける商品作りを続けてまいります。お客様のさらなるご支援・ご愛顧のほどよろしく願いいたします。

**長濱社長** お客様・お取引様・従業員とご家族、この三者が食を通して豊かになる、言わば「三方良し」を目指して邁進してまいります。その上で大切なことが「創る(商品を創る、想いを創る、サービスを創る)」「共創」「伝える(想いを伝える、商品を伝える、食文化の大切さを伝える)」「繋がる・繋げる【共存】」「育む、ともに成長する【共栄】」の4つのキーワードです。これらを実行に移すためには人財育成と、時間の使い方が重要になってくると考えています。どんな世の中になっても企業は人が中心となり、人が考え、人が動かすもの。DXやSDGsなど時代のニーズにも柔軟に対応しながら100年企業を目指してまいります。

45年の歴史を大切に  
チャレンジし続ける。  
食の大切さ、食の楽しさ、  
命の大切さを  
これからも皆様へ  
伝え、繋げ、育んでいきたい。

長濱徳勝

代表取締役会長



長濱徳洋

代表取締役社長



# QUALITY MANAGEMENT

品質管理

安心、安全、  
高品質な  
製品の提供



**[ 安心・安全・高品質な製品の提供 ]**

私たちは、食品メーカーとして安全性と品質を第一に考えながら、よりよい製品の開発を追求しています。製造業において欠かせない安心・安全で高品質な商品を提供するため、2003(平成15)年に日本品質保証機構(JQA)による品質管理システムに関する国際規格「ISO9001」及び「HACCP SYSTEM」を認証取得しました。そして更なる高みを目指すため2021(令和3)年に食品の安全に特化した国際規格「ISO22000」に移行しました。吟味を重ねた原料選びから始まり、製造過程における細心の注意を怠りません。安心してご使用いただくために、徹底した衛生管理と一つ一つの製品への厳しい品質チェックを行っています。安全で高品質、消費者に喜ばれる製品の提供と環境に配慮した商品開発を進めています。



ISO 22000は、「食品安全マネジメントシステム—フードチェーンに関わる組織に対する要求事項国際標準規格」である。安全な食品を生産・流通・販売するために、HACCPシステムの手法を、ISO 9001(品質マネジメントシステム規格)を基礎としたマネジメントシステムとして運用するために必要な要求事項を規定している。



# 「琉球料理・沖縄料理といえば やっぱりオキハム」を目指して

## ハム工場

昭和52年にハム工場を落成。昭和61年にドイツからハム・ソーセージ特殊技能者マイスターメルツァー氏の製造技術を学んだオキハムのハム・ソーセージには熟練の技が活かされています。主力であるハム・ソーセージは県内外の量販店向けに限らず、業務用食材など幅広い製品を製造しています。



## レトルト工場

昭和57年、全国に先駆け琉球料理汁物(中味汁など)をレトルトパック化に成功。手間暇のかかる琉球・沖縄料理をいつでも美味しく手軽に味わっていただきたいとの想いから、様々なレトルト商品を製造することで、沖縄の大切な食文化の普及と発展に貢献しています。



## 惣菜工場

令和2年4月に新惣菜工場を落成。沖縄の昔ながらの伝統の味を守り、沖縄特有の素材を活かした多種多様な食材を3温度帯(常温・冷蔵・冷凍)で製造しています。惣菜工場で作られた製品は、沖縄の行事や普段の食卓に欠かせない存在となっています。



## 乾燥工場

平成21年2月新乾燥工場落成。ミミガージャーキーシリーズをはじめ、しま豚(沖縄県産豚肉)を使ったジャーキーなど沖縄特有の素材を使った乾燥商品は、沖縄観光土産に大人気です。



## おかし工房よみたん

スイーツ産業が盛んな神戸で10年間修業したパティシエが作る地元の素材にこだわったスイーツやドリンクは、洗練された熟練の技術で魅了します。空気(エア)のように軽い「えあちんすこう」は一度食べたらずみつきになる美味しさです。



## 水産部(すっぽん養殖場)

自然と共生した健康食品を作りたいとの創業者の想いから、沖縄県内初の大規模すっぽん養殖場が平成23年10月に始まりました。沖縄の自然、温かい気候とこだわりの飼料、地下水、サンゴ砂で育てられたすっぽんは成長もよく、臭みが少ないのが特徴です。2021年12月 日本一認定協会(UA-JAPAN RECORDS)により重さ(8kg)日本一のすっぽんと認定されました。



[工場設備]

# FACTORY EQUIPMENT

株式会社沖縄黒糖



株式会社沖縄黒糖は、昔ながらの製造方法にこだわり、サトウキビから黒糖ができるまでの全工程を無料で楽しく見学することができる観光施設です。



農業生産法人 もとぶウェルネスフーズ株式会社



日本健康食品規格協会適正製造規範GMP認定工場を有しており、原材料(シークワーサー)の受け入れ、搾汁から製品の出荷まで安全、かつ一定品質が保たれる仕組みで、お客様へ安心・安全な商品をお届けしています。



\*自社独自のGABA発酵技術(特許第511462号)を活用したGABA関連の機能性表示食品などの健康飲料の製造をしています。



農業生産法人 有限会社ロングビーチランド



旧上本部飛行場跡地の一部、約50,000坪の土地を利用した熱帯果樹園「ロング農場」を運営しています。ロング農場では、シークワーサーやパパイヤなどを栽培し、収穫した果実は、車で約2分のもとぶウェルネスフーズ株式会社へ新鮮なうちに運ばれます。

株式会社 おきなわん・ひやみかち・もとぶ

旧上本部飛行場跡地利用の開発事業をしています。

農業生産法人もとぶ桃原農園株式会社

旧上本部飛行場跡地を利用してサトウキビを生産しています。

地域連携事業

市町村農工商連携(地域連携)

沖縄県各市町村の未利用の食材を使った商品の製造。



【連携先】市町村、JA、コープおきなわ、沖縄県農業研究センター、漁業組合、観光協会、商工会、北部農林高校、沖縄高専、養鶏組合 ほか

地域応援!農工商連携商品

\*一部終売商品あり



沖縄の食文化の継承

琉球料理のきほん

松本料理学院長松本嘉代子監修「琉球料理カレンダー」のwebページ。代々受け継がれてきた琉球料理のレシピを掲載。



ワタシ沖縄に移住します

旦那さん(タケシ)の転勤を機に本土から沖縄へ移住した主人公(チエ)の視点からオキハムの商品を通じて琉球料理を知っていく連載マンガ。



一般社団法人 琉球料理保存協会 法人会員

琉球料理の ユネスコ無形文化遺産登録を支援しています。



オキハムの取り組み ~より良い未来へ~

メセナ事業

沖縄の伝統芸能の継承、若手の人材育成を目的とした活動

かりゆし民謡大賞

「三線文化の継承」を目的とし1990年~1992年、3回開催。

「琉球芸術祭」

沖縄の伝統芸能(組踊、琉球舞踊、古典音楽、旗頭、獅子舞、エイサー、民謡、地域に伝わる民俗芸能など)の継承を目的として沖縄県立芸術大学OB会を中心に2004年3月~5回上演され、2万人以上の観客を動員しました。



首里城再建支援プロジェクト 「蘇れ、首里城」

対象商品の売り上げの一部を首里城の復興支援として一般財団法人沖縄美ら島財団へ寄贈しています。



子どもたちの未来のために

沖縄県ミニバスケットボール大会・沖縄タイムスワラビーカップ協賛



ネーミングライツ

『オキハム読谷平和の森球場』読谷村体育施設パートナー企業として2019年3月に契約を締結しました。



タコライス文庫

「金武町のタコライス」の売上の一部で、毎年金武町内の小中学校へ文庫を寄贈しています。



沖縄子どもの未来県民会議協賛

沖縄子ども未来ランチサポート協賛





創業者  
長濱 徳松

## 創業者あいさつ

オキハムは令和4年、おかげさまで創立45周年を迎えることが出来ました。現在従業員500人余、売上77億円超の企業に成長いたしました。今日まで沖縄県民及び消費者の皆様にご多大なるご支援・ご愛顧を賜りましたことを心より感謝申し上げます。

本部町の協力で平成25年に関連会社「農業生産法人もとぶウェルネスフーズ(株)」を設立、翌26年に加工工場が完成し、シークワサー加工品の消費拡大に向けて稼働しています。

また平成23年に「すっぽん」の養殖を開始し、自然と共生した健康食品や加工食品を製造しています。令和2年4月には、新惣菜工場を落成。「御年寄は国の宝」「長寿県沖縄」をスローガンに、沖縄の風土に根差した伝統的食文化である「琉球料理」を中心に沖縄特有の食文化の発展に寄与して参ります。

今後ともご協力を賜りますよう、よろしく申し上げます。

### わが人生に悔いはなし

【創業者 長濱徳松 プロフィール】

昭和4年8月20日 本部村浦崎で出生。  
「この子の人生春が来るたびに繁栄に恵まれ、徳がある子供に育ちますように」と願いが込められ命名された。

昭和19年 本部町謝花尋常小学校卒業  
昭和19年 滋賀県近江航空入社  
昭和20年 満州飛行機入社(中国東北部)  
昭和28年 製粉、精米、押し麦加工工場を経営  
昭和31年 浦崎共同製糖工場  
昭和36年 本部畜産設立  
昭和42年 北部養豚組合連合会設立  
昭和47年 株式会社沖縄県北部食肉センター設立  
昭和52年 沖縄ハム総合食品株式会社設立  
昭和62年 株式会社沖縄黒糖設立  
平成2年 第1回かりゆし民謡大会開催(以後3年間開催)  
平成6年 本部町長就任  
平成16年 第1回「琉球芸術祭」開催(以後5回開催)

### 【褒賞等】

オグレスビー 産業功労賞  
平成15年4月 春の叙勲で勲五等瑞宝章受章  
琉球新報賞  
沖縄タイムス賞  
沖縄県功労者

### 【社会活動】

- ・ 沖縄県本部町議会議員3期務める  
本部町より自治功労の表彰を受ける  
沖縄県町村議会より表彰を受ける
- ・ 沖縄県畜産公社理事
- ・ 沖縄食肉連絡協議会会長
- ・ 沖縄県食肉加工組合理事長
- ・ 沖縄県工業連合会副会長
- ・ 沖縄県経営者協会理事
- ・ 沖縄県三線組合設立へ助力(感謝状を受ける)

### 【座右の銘】

「僕はいつも人より先に歩く 苦勞も多いが皆ついてくるので嬉しい」

## 会社概要

会社名 沖縄ハム総合食品株式会社  
会社設立 昭和52年2月23日  
資本金 9,000万円  
従業員 500名(パート含む)  
年商 約80億円

事業内容  
a・食肉加工品製造販売  
ハム、ベーコン、ソーセージ等  
b・惣菜製品製造販売  
琉球惣菜(サーターアングギー、ラフティ、中味汁)ローストビーフ、ローストポーク、トンカツ、紅麴焼豚、冷蔵・冷凍商品他  
c・レトルト製品製造販売  
琉球料理シリーズ、タコライス、ラフティ、コンビーフハッシュ、ポークランチョンミート他  
d・乾燥製品製造販売  
ミニガージャーキー、しま豚ジャーキー他  
e・飲料製品製造販売  
パパシークワサー、ギャバミン他  
f・精肉製品  
沖縄県産及び輸入豚肉・鶏肉・牛肉

役員  
創業者 長濱 徳松  
代表取締役会長 長濱 徳勝  
代表取締役社長 長濱 徳洋  
専務取締役 安田 誠  
常務取締役 新垣 正道  
取締役 仲宗根邦博  
取締役(非常勤) 伊野波盛規  
取締役(非常勤) 長濱 孝弘  
取締役(非常勤) 長濱 功  
取締役(非常勤) 新城 一哉  
監査役(非常勤) 安里 都孝  
監査役(非常勤) 池原 安志

取引銀行 沖縄振興開発金融公庫 商工組合中央金庫  
コザ信用金庫 海邦銀行 沖縄銀行 琉球銀行  
みずほ銀行 三菱東京UFJ銀行

主な販売先 県内量販店、県内百貨店、製パン業、小売店、ホテル  
レストラン、卸売業者、学校給食、生活協同組合、  
(株)沖縄県物産公社、(株)沖縄物産企業連合、他

主な仕入先 (株)ミーティッジ、(株)アイ・ビー・シー、総合包装(株)、  
(株)沖縄県食肉センター、他

関連会社 (株)沖縄黒糖、(株)おきなわん・ひやみかち・もとぶ、  
農業生産法人(有)ロングビーチランド、  
農業生産法人もとぶウェルネスフーズ(株)

## 沿革

- |           |  |           |  |
|-----------|--|-----------|--|
| 昭和52年 2月  | 沖縄県名護市に於いて株式会社沖縄ハム設立<br>代表取締役 長濱徳松就任(資本金6,500万円)   | 平成6年 4月   | 代表取締役社長に仲宗根勝己就任、<br>同時に長濱徳松は代表取締役会長に就任                                   |
| 8月        | 同場所に於いて本社名護工場を設置(1,129.29m <sup>2</sup> )  | 12月       | 沖縄冷凍食肉事業協同組合に加入  |
| 昭和55年 7月  | 大阪府東大阪市に大阪営業所設置  | 平成11年 6月  | 関連会社農業生産法人有限会社ロングビーチランド<br>を設立(資本金600万円)                                 |
| 昭和56年 11月 | 株式会社沖縄ハムの資本金を9,500万円に増資する。   | 平成12年 4月  | 代表取締役社長に長濱徳勝就任   |
| 12月       | 沖縄県読谷村に、読谷工場を設置<br>土地=45,574m <sup>2</sup> 建物=2,515m <sup>2</sup>                                | 平成14年 3月  | 東京営業所を神奈川県川崎市へ拡充移転   |
| 12月       | 社名を沖縄ハム総合食品株式会社に変更し、これに<br>伴い従来の事業に加えて調理惣菜、レトルトパウチ<br>食品の製造販売開始                                  | 平成15年 4月  | 日本品質保証機構(JQA)により、<br>品質管理システムに関する国際規格「ISO9001」<br>及び「HACCP SYSTEM」の認証を取得 |
| 昭和57年 6月  | 沖縄地区税関減税輸入牛肉需要割当加工場の承認工<br>場の指定を受ける  | 5月        | 関連会社有限会社とけし産業設立(資本金300万円)  |
| 8月        | レトルトパウチ食品の琉球料理シリーズの販売を開始   | 平成21年 2月  | 沖縄地区税関長より、保税工場の許可を受ける  |
| 昭和59年 6月  | 沖縄県石垣市に八重山営業所設置  | 2月        | 開発室、乾燥工場落成(建物面積=640m <sup>2</sup> )                                      |
| 7月        | 東京都品川区に東京営業所を設置  | 7月        | 保税製品「無添加oh!ポーク」香港向け輸出(積戻し)<br>開始   |
| 昭和60年 12月 | 1億2,500万円を増資、資本金2億2,000万円となる   | 平成23年 3月  | 一般財団法人 日本健康食品規格協会より<br>健康食品GMP認定(飲料工場)                                   |
| 昭和61年 10月 | ドイツからハム・ソーセージ特殊技能者マイスター<br>メルツァー氏招聘し、本場の加工技術指導を受ける   | 7月        | 購買部冷凍倉庫落成(建物面積=540m <sup>2</sup> )                                       |
| 昭和62年 8月  | 沖縄県読谷村に、関連会社株式会社沖縄黒糖を設立<br>(資本金2,650万円)<br>工場429m <sup>2</sup> (130坪) 売店337m <sup>2</sup> (102坪) | 10月       | スッポン養殖開始   |
| 10月       | 読谷工場「なかゆくい広場」(49,500m <sup>2</sup> )に本格ド<br>イツ料理「メルツァーレストラン」落成                                   | 平成25年 6月  | すっぽん加工販売のための養殖及び加工事業<br>6次産業の認定を受ける                                      |
| 平成4年 6月   | 沖縄地区税関長より、保税工場及び保税倉庫上屋の<br>許可を受ける(期間3年間)   | 8月        | 関連会社 農業生産法人もとぶ ウェルネスフーズ(株)<br>設立   |
| 6月        | 本社を名護市から読谷村字座喜味2822番地の3に移<br>転する   | 平成27年 3月  | 関連会社 農業生産法人もとぶ ウェルネスフーズ(株)<br>GMP取得                                      |
| 9月        | 5,000万円増資し、資本金2億7,000万円となる   | 平成29年 11月 | おかし工房よみたん(建物面積=345m <sup>2</sup> )落成                                     |
| 11月       | ハム工場を読谷村に拡充移転(建物面積=4,950m <sup>2</sup> )   | 令和2年 4月   | 惣菜工場(建物面積=2,990m <sup>2</sup> )落成  |
|           |  | 令和4年 4月   | 代表取締役社長に長濱徳洋就任<br>同時に長濱徳勝は代表取締役会長に就任                                     |

# ACCESS MAP



## 本社・工場

〒904-0301 沖縄県読谷村字座喜味2822-3  
TEL:098-958-4330(代) FAX:098-958-4333

## 東京営業所

〒216-0035 神奈川県川崎市宮前区馬絹1-7-4  
TEL:044-870-1135 FAX:044-870-1125

## 大阪営業所

〒577-0067 大阪府東大阪市高井田西1-2-36 1F  
TEL:06-6783-0013 FAX:06-6783-0001

## 北部営業所

〒905-0022 沖縄県名護市世富慶442-2  
TEL:0980-52-0025 FAX:0980-53-1186

## 八重山営業所

〒907-0024 沖縄県石垣市新川93  
TEL:0980-82-3372 FAX:0980-82-3372

## 「関連会社」

### (株) 沖縄黒糖

〒904-0301 沖縄県読谷村字座喜味2822-3  
TEL:098-958-4005 FAX:098-958-4004

### (株) おきなわん・ひやみかち・もとぶ

〒905-0204 沖縄県本部町字豊原742  
TEL:0980-51-7710

### 農業生産法人(有) ロングビーチランド

〒905-0217 沖縄県本部町字浦崎601  
TEL:0980-48-2587

### 農業生産法人 もとぶウェルネスフーズ(株)

〒905-0204 沖縄県本部町字豊原742  
TEL:0980-51-7710



Facebook



Twitter



クックパッド



Instagram